

令和3年度市町村提案事業採択状況

【資料2】

No	市町村名	事業名	事業主体	対象事業費 (円)	補助要望額 (円)	事業の概要	理由
1	蔵王町	放課後学習支援事業	蔵王町	4,048,000	2,024,000	<p>目的 町内小学校において、全国学力調査の結果から5校ともに全国平均を下回っており学力向上が課題である。その課題解決、並びに、学校教職員の負担軽減、地域人材を活用した地域学校協働活動の推進を目的とし、さらにICT活用を踏まえた教育活動を進めるため、放課後学習支援事業を行う。</p> <p>内容 ○町内小学校5校において、放課後学習室を開設し、週2回・3時間程度の学習室を実施する。 ○地域の方々が相談員・支援員として、見守りと学習支援を行う。 ○児童は下校指導ののち、学校内の図書室等を活用した放課後学習室で、プリント学習や、タブレットを活用した学習を行う。</p>	<p>町内小学校において開設している放課後学習教室で、タブレットを活用した学習支援を行う本事業は、学力向上に資するとともに、ICT教育の普及に向けて、学校と家庭の双方を支援する事業となっている。2022年までに全ての町内小中学校に整備するタブレットを、学校の活動のみならず放課後学習でも活用する点や、タブレットを使った学習の進め方について指導し、家庭学習に取り入れることを目指す点は先進的・モデル的取組といえる。また、地域住民が相談員・支援員として学習支援を行うこととしていることは町の独自性がみられる。さらに、町のアンケートによると、保護者からの放課後学習支援のニーズは高く、地域住民である相談員・支援員からも子供たちの役に立つ機会として要望があることから、地域住民の要望を反映した事業といえる。 以上のことから、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。</p>
2	大河原町	白石川右岸堤内地賑わい施設整備調査検討事業	大河原町	8,558,000	4,279,000	<p>目的 令和元年度に当該補助金を活用し白石川右岸河川敷整備事業の基本計画を策定したところだが、さらに白石川右岸の堤内地(田んぼ側)に、賑わい拠点となる公園を設置し、自転車や河川敷利用者の利便性の向上を図る。</p> <p>内容 ○賑わい拠点と防災拠点の機能を持たせた公園を整備するための調査検討を行う。 ○施設のイメージ写真等を作成し、それをもとに住民参加のワークショップ等を開催する。</p>	<p>本事業は、令和元年度に市町村提案事業を活用し策定した白石川河川敷整備事業の基本計画について、賑わい拠点施設を防災拠点として活用するという新たな視点を加えて調査検討を行うものである。令和元年度に設立したみやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議の活動を踏まえて、ツーリズム拠点を設置する点は町の独自性がみられ、仙南地域全体の活性化や賑わい創出に効果があると考えられる。また、賑わい拠点を、災害時の防災拠点として、有効活用を図っていくなど、町の創意・工夫がみられる取組といえる。 以上のことから、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。</p>
3	名取市	自転車周遊促進実証事業	名取市	3,704,250	1,852,000	<p>目的 市内に自転車周遊コースを設定し、周遊イベントを実施することでサイクルツーリズムの推進を行う。</p> <p>内容 ○自転車通行に関する専門家及び地域住民の意見により安全性・快適性を考慮した自転車周遊コースを4コース以上設定する。 ○上記コースを活用して観光地や飲食店等を周遊するイベントを実施する。</p>	<p>本事業は、「宮城サイクルツーリズム推進協議会」で設定している「震災復興・伝承みやぎルート」に合わせた独自のサイクルコースの設定や周遊イベントの開催によって、地域の観光資源や震災伝承施設を巡る環境構築を図るものである。名取市では令和2年10月に東北唯一の宿泊施設付きの自転車専用施設を整備しており、当該施設により地域活性化を図るとともにSNSやイベントを活用しサイクルコースの設定を行う取組は、先進性の高いモデル事業であると言える。また、地域住民の意見を取り入れたコース設定や、サイクルツーリズムを受け入れるための地元飲食店等と連携した環境づくり等の取り組みには創意・工夫が見られる。 以上のことから、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。</p>
4	富谷市	持続可能な社会を目指したサイエンス教育と環境啓発事業	富谷市	5,000,000	2,500,000	<p>目的 富谷市総合計画の施策目標に掲げる「地球環境への貢献につなぐエネルギー地産地消のまちづくり」に向けて、次世代の人材育成や若い世代が科学技術に興味を持つ場を設け、将来的に研究者やモノづくりを目指すきっかけとし、日本や世界を舞台に活躍できる人材の育成に繋げることを目的とする。</p> <p>内容 ○令和元年度に開催した「サイエンスキャッスル」を軸とした環境啓発事業を開催する。 ○同事業で中・高校生参加やユネスコスクールとしての活動発表を通じて県内・外の中・高校生との交流を図る。</p>	<p>本事業は、令和元年度に実施したサイエンスキャッスル東北大会の開催、市内小学生向けの出前授業の内容をさらに展開させ、新たに市内中学生にも独自の研究を行ってもらうものである。富谷市では、低炭素社会形成に向けて水素実証事業等を実施しており、そうした中で水素社会の普及啓発と、中高生の参加による次世代の人材育成を併せて図る点は、創意・工夫が認められる。また、同市は市内全ての小中高校及び幼稚園がユネスコスクールに登録され、ESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでいるところであり、そうした地域の独自性にも合致した事業といえる。 以上のことから、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。 なお、今年度実施予定であった市町村提案事業について、新型コロナウイルスの影響により中止となった経緯から、感染症予防対策の徹底や、リモート開催等の代替案についても十分に検討すること。</p>
5	気仙沼市	(仮)スローシティJAPANフェスタ2021事業	(仮)スローシティフェスタ実行委員会	6,000,000	3,000,000	<p>目的 地域固有の食や自然、歴史、文化、風土の下、悠久のリズムの中で生活する心地良さを市民自らが価値あるものとして認識し、ゆとりある豊かな生活の実現と次世代への継承につなげるとともに、その豊かさを広く周知し、交流・関係人口の創出による地域活性化を図る。</p> <p>内容 ○前橋市と連携し、「(仮)スローシティJAPANフェスタ2021(スローシティシンポジウム、スローでスマートなまちづくりパネル展等)を開催し、広く国内外にPRする。</p>	<p>平成25年に国際認証を受けた「スローシティ」の普及、啓発については、市の総合計画に位置付けられた長期的な取組であり、本事業は気仙沼市のほかに唯一認証を受けている前橋市と連携して、取組の一層の推進を図るものであり、地域の特性に応じた事業といえる。国内外のスローシティ認証都市との連携や、国際的著名人の出演によるシンポジウムの開催など、市の創意・工夫もみられる。また、「新・みやぎの未来ビジョン」にて推進する取組と合致している。 以上のことから、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。 なお、イベント開催時は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底すること。</p>

令和3年度市町村提案事業採択状況

【資料2】

No	市町村名	事業名	事業主体	対象事業費 (円)	補助要望額 (円)	事業の概要	理由
6	南三陸町	「志津川湾」保全・利活用策定事業	南三陸町	8,500,000	4,250,000	<p>目的 志津川湾が平成30年10月にラムサール条約湿地として登録されたことを機に、同条約の掲げる、自然環境保全と交流・学習・賢い利用(ワイズユース)の三方よしの利活用計画を策定する。策定の過程で、地域のステークホルダーを巻き込みながら湾の現状を把握し、その可能性を引き出すことにより、「森里海ひと いのちめぐる」豊かな地域づくりの舞台・求心点・鏡としての志津川湾像の再定義を試み、次世代に引き継ぐ実効的な計画の策定を行う。</p> <p>内容 ○地域のステークホルダーによる策定会議を開催し、志津川湾の置かれている現状を把握するとともに、実効性のある利活用計画を策定する。 ○策定過程や策定後に一般向けのシンポジウムまたは学習・交流イベントを開催する。</p>	<p>ラムサール条約湿地として登録されている志津川湾について、多くのステークホルダーを巻き込み、実効性のある利活用計画を策定する本事業は、今後、自然環境を地域づくりの資源として利活用していくものであり、地域の特性に応じたモデル的な事業といえる。また、これまでの官民連携での活動を、学校教育など他の分野にも広げ、より一体的な地域活動につなげる点は、町の創意・工夫がみられる。さらに、水産加工業者や観光業関係者のニーズがあり、住民の要望を反映した事業といえる。 ○以上のことから、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。 なお、イベント開催時は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底すること。</p>
7	利府町	利府町浜田・須賀地区「新たな魅力創出」事業(1年目)	利府町	1,090,000	545,000	<p>目的 今年度策定予定の浜田・須賀地区の復興創生プランにおいて、地域住民の意見やアイデアを取り入れた「モノづくり」「コトづくり」「情報発信のしかけづくり」「暮らしづくり」「人・組織づくり」を柱としており、行政と地域住民の協働で取り組むことによって、地域住民の前向きな姿勢やシビックプライドを醸成し、持続的な地域の活性化に繋げることを目的とする。</p> <p>内容 【令和3年度～令和5年度の継続事業】 令和3年度分の事業内容は下記のとおり。 ○復興事業で整備された防潮堤や地区内のカフェ周辺を幻想的な灯で包み込む「キャンドルナイト」を実施する。 ○景観や海産物、飲食、マリンスポーツ、漁業体験等、当該地区の魅力を撮った写真を募集する「フォトコンテスト」を実施する。 ○地区に訪れた人々が快適に移動できるよう「電動レンタサイクル」を導入する。</p>	<p>本事業は現在策定中の浜田・須賀地区の復興創生プランにおいて、令和3年度からの10年間の中で取り組むこととされている事業であり、当該復興創生プランのスタートに合わせ、行政と地区住民が協働して地域資源を生かした持続可能なまちづくりに向けたイベント等について実施する事業である。計画の段階から地区住民と協議を重ねており、住民意向・要望が強く反映された事業であるといえる。また、イベント事業等では、単に参加するだけでなく、地区住民が運営に携わる仕組みとなっており、地域コミュニティの維持・拡大に寄与する効果が期待できるものであり、独自の創意・工夫が見られる。 ○以上のことから、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。</p>
8	柴田町	ガーデンツーリズム推進事業(2年目)	柴田町	2,000,000	1,000,000	<p>目的 みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結びつけ、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係人口の増加を図る。ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。</p> <p>内容 【令和2年度～令和4年度の継続事業】 令和3年度の事業内容は以下のとおり。 ○各自治体や観光協会、観光施設等の関係機関や、旅行会社等に掲示するためのポスターとチラシを作成する。 ○「東北6県デスティネーションキャンペーン」とも連携した誘客キャンペーンを企画する。 ○北海道から九州までの国土交通省のガーデンツーリズム登録団体に参加していただき、花の専門家やガーデンツーリズムに精通したタレント等によるシンポジウムを県南エリアで誘致・開催する。</p>	○
				38,900,250	19,450,000		